

## 町政への申し入れ

四月八日、皆野町長選が告示されましたが、現職の石木戸氏のみが立候補、無投票で次期町長が決まりました。

日本共産党皆野町委員会は、三期目をすすめる石木戸町政に、安心で希望の持てる町づくりをすすめていただくよう「町政への申し入れ」を行ないました。

### 1・山林の整備について

皆野町では、この十年間に大雨・大雪などにより小規模な土砂災害が繰り返され、倒木やそれに伴う土砂崩れなどがふえ危険度が増しています。地球温暖化による異常気象や南海トラフ地震などによる地すべり等の災害の発生が懸念されます。災害を未然に防ぐ対策は焦眉の課題となっています。高齢化が進み、山林に手が入らず、密林や倒木が放置された山が目立ち、土石流の危険など、心配は尽きません。山林の整備について、早急に取り組むよう申し入れます。

山林の整備事業による雇用創出、木材の再利用事業や自然エネルギーの活用にもつながるよう継続的に将来を見据えたものを望みます。

### 2・地域循環型経済の取り組み

給食の食材については、現在、地元で取れたものも使われていますが、さらに生産者と連携し計画的に種類や量などを増やすなど、地域循環型経済の取り組みをいっそうすすめるよう申し入れます。

### 3・文化・芸術体験事業について

文化・芸術体験事業は、子どもたちの豊かな人間性を育てるために重要であり、その恒常的な環境づくりも欠かせません。子どもたちが鑑賞するにふさわしいものであることを基準にするのは言うに及びません。

文化会館を町内外の学生や音楽団体に練習会場として広く開放し、その練習を町民が自由に聞くことが出来るような利用方法を考えていただきたい。町の活性化にもつながるものです。

### 4・自然エネルギーの活用について

官と民の合同研究会をつくり、その情報を町民に知らせ、町全体で自然エネルギー活用をめざす町づくりを進めていただきたい。

### 5・町民の元気な声や笑い声がきこえてくるような、より参加しやすいよう、健康増進・予防をいっそう充実させて

いただきたい。以上

## 入学おめでとう

小さな背中に大きなランドセル、ちよつと桜の花が満開の中、皆野小・国神小・三沢小の三つの小学校の入学式が行われました。入学おめでとうございます。

新入生はどのくらい？ 気になる方もいらっしゃると思います。「せめて、クラス替えができるくらいの子童がいるといいのです」が、「国神小や三沢小の先生方から聞こえてきます。

人口減少・少子高齢化は、皆野町にかぎった事ではありませんが、元気な子どもたちの声が聞こえる地域づくり、町づくりをすすめていく必要があります。



常山 知子

### 皆野幼稚園

年少	23
年中	44
年長	24
総計	91

### 皆野中学校

1年生	85 (0)
2年生	94 (1)
3年生	91 (3)
総計	270 (4)

### 小学校

学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	学校別計
皆野小	59 (0)	53 (3)	50 (1)	56 (1)	63 (0)	60 (0)	341 (5)
国神小	17 (0)	15 (1)	16 (0)	17 (1)	20 (0)	21 (0)	106 (2)
うち日野沢地区	2	0	2	2	0	2	8
うち金沢地区	0	5	3	1	1	4	14
三沢小	9 (1)	3 (0)	4 (0)	5 (0)	10 (0)	7 (0)	38 (1)
学年別計	85 (1)	71 (4)	70 (1)	78 (2)	93 (0)	88 (0)	485 (8)